

■卒業生アンケート傾向分析【2020～2022年度】

目的

卒業生にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

調査概要

調査対象：卒業生全員（卒業後3年に至る方。留学生を除く。）

調査方法：調査対象者に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2022年度	2021年度	2020年度
発送数 a	561	584	723
住所不明 b	69	65	111
回収数 c	29	29	46
回収率 $c/(a-b)$	5.9%	5.6%	7.5%

結果の概要

- ・回答者の多くは東京都又は千葉県企業に就業しており、業種は多岐に渡る。
- ・2022年度は、過年度と比べ転職経験者の割合が減少した。
- ・2022年度は転職経験者のうち2割が2回以上の転職を経験している。
- ・離職のタイミングは、年々早期離職の傾向にあったが、2022年度は初年度で離職することなく、2年目で6割以上が離職している。
- ・転職未経験者の多くが、就職情報サイト等外部の媒体を活用して求人情報を収集している。その一方で、大学からの斡旋、大学企業セミナー、GSM インターンシップなど、大学がきっかけとなり就職先を選択した卒業生も一定数いる。
- ・転職未経験者の半数以上が大学で学んだ専門教育及び教養教育が就職後に活かされていると感じており、2年連続で回答数が増加した。
- ・2020～2022年度の傾向として、「問題解決力」「自己管理能力」「情報リテラシー」を身につけることが、就業力を向上させると考える卒業生が多い。

分析・対策等

- ・大学企業セミナーにより就職先を選択した卒業生が一定数いることから、求人開拓や企業セミナー等のイベントを開催し、企業とのパイプ作りを強化する必要がある。
- ・就業先での情報リテラシーの必要性が高まっていることから、学修の基礎Ⅲをはじめとした教育の強化が必要である。

■企業アンケート傾向分析【2020～2022年度】

目的

卒業生を雇用いただいている企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

調査概要

調査対象：調査実施年度の前年度、前々年度に採用実績がある企業

調査方法：調査対象企業に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2022年度	2021年度	2020年度
発送数 a	600	535	566
住所不明 b	23	17	11
回収数 c	106	79	94
回収率 $c/(a-b)$	18.4%	15.3%	16.9%

結果の概要

- ・回答企業の多くは東京都・千葉県に所在する中小企業で、過年度と同様に「卸売業、小売業」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に「人間性」、「職務能力の適性」を非常に重視する企業が多く、学力は「普通」との回答が過半数を超える。
- ・卒業生の評価では、8領域のうち「職務遂行能力」、「対人関係・協調性」、「コミュニケーション能力」、「責任感・粘り強さ・誠実性」の4領域で7割以上の企業から「優れる・やや優れる」と評価されており、過年度と評価に変化はなかった。
- ・昨年度評価の低かった「外国語運用能力」、「パソコン操作能力」のうち、「パソコン操作能力」において昨年と比べ1割ほど良い評価となった。

分析・対策等

- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時にSPI等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化については継続が必要である。
- ・卒業生の評価では、パソコン操作能力に関する回答が昨年と比べ1割ほど良い評価となった。しかし、人間性と比べ職務上で必要となる技術面での評価が低いことから、実践に即した語学力やパソコン操作能力の強化が今後も継続して必要である。

■浦安市内企業アンケート傾向分析【2020～2022年度】

目的

浦安市内の企業にアンケート調査を行い、本学の教育力向上及び学生の社会的・職業的自立に対する指導に関する情報を収集する。

調査概要

調査対象：浦安市内に本社がある企業

(求人実績企業・OBOG在籍企業・企業訪問記録登録企業)

調査方法：調査対象企業に調査内容を記載した往復はがきを送付し、回収した。

	2022年度	2021年度	2020年度
発送数 a	82	74	68
住所不明 b	3	15	0
回収数 c	31	10	12
回収率 $c/(a-b)$	39.2%	16.9%	17.6%

結果の概要

- ・回答企業のほとんどが従業員数 500 人未満の中小企業で、2022 年度は「医療・福祉」からの回答が多かった。
- ・採用に当たっては、過年度と同様に多くの企業が「人間性」、「職務能力の適性」を重視しているが、「学力」を「あまり重視しない」という回答が減り、やや重視する傾向にある。
- ・本学の教育内容に求めることについては、「チームワーク・リーダーシップ」との回答が多かった。また、過年度と比べ、「倫理観」との回答が増加した。

分析・対策等

- ・採用に当たって学力を重視する企業もあり、採用選考時に SPI 等筆記試験を課す企業も多いことから、低学年からの基礎学力の強化が必要である。
- ・チームワーク・リーダーシップの必要性が高まっていることから、キャリアの授業をはじめとした教育の強化が必要である。
- ・教育内容に求めることについてのアンケート結果から、多様化する社会で活躍する人材を輩出するためには、「チームワーク・リーダーシップ」、「倫理観」といった機械や AI では代替できない社会性や人間性を在学中に伸ばすことが重要である。